

青少年委員会担当副理事長方針

古山 雄太

世の中の環境の変化により、場所や地域にとらわれず、国内はもとより全世界との繋がりがもてる現在では、多様な価値観を認め合える寛大な心と豊富な情報から見極める感性を兼ね備えた人財の育成が必要あると考えます。

日々進歩する科学技術の発展により、子どもを取り巻く環境は、私たち青少年期と比較しても大きく違います。特に、ITの進歩により幅広くコミュニティーや疑似体験等、様々なメリットが得られる一方で、直接的な人間関係の希薄化、実体験が不足する等のデメリットも多くあるのではないのでしょうか。このような現状を踏まえ、私たち青年会議所は、子どもの置かれている環境を理解し、人との繋がりの中で育める思いやりの心など、様々な『心』を養っていただくと共に、子どもが将来を左右する判断の軸とできる実体験を提供していく必要があると考えます。また、未来を担う子どもを地域全体で育ていけるよう、関係機関と連携を密にしながら、運動発信を大きくしていく必要があると考えます。

私は、副理事長として、率先して自分のことより相手のことを考え、思いやりをもって行動することで、メンバーの活動意欲の向上に繋がります。また、青年会議所活動で培った経験を活かし、メンバーの成長へ繋げ、青年会議所の発展に努めてまいります。

<青少年委員会>

未来を担う子どもに、実体験を通じて直接的な人との繋がりから育める『心』と『知識と経験』を養える機会を提供していただきたい。